



- 相応峰寺駐車場
- ↓ 0:05
- 登山口
- ↓ 0:42
- 仁王門
- ↓ 0:03
- 作善上人の墓
- ↓ 0:04
- 極楽の鐘
- ↓ 0:08
- 圓通殿
- ↓ 0:06
- 観音山(245m)
- ↓ 0:06
- 西尾根降口
- ↓ 0:42
- 磯登山口
- ↓ 0:13
- 白馬公園案内板
- ↓ 0:14
- 相応峰寺駐車場

観音山(245m) 兵庫県浜坂町
2019.04.01(月)晴れ後ミゾレ

相応峰寺駐車場～登山口～仁王門～作善上人の墓～極楽の鐘～圓通殿～**観音山(245m)**～西尾根降口～磯登山口～白馬公園案内板～相応峰寺駐車場



相応峰寺の駐車場に駐車する。山側に737年行基による開山の天台宗観音山相応峰寺が建つ。



傍に立つ相応峰寺案内板に目を通し、右へ向かう。



道路を山側へ向かう。



道端に石仏を見る。



登山口から緩やかに擬木階段を登って行く。左へ進むと三柱神社に至る。



左に三番石仏を見る。



緩やかに登って行く。



1丁目を通過する。



2丁目を通過する。



土塁の参道を行く。



3丁目を通過する。



4丁目を通過する。



十七・十八番石仏を見る。



5丁目を通過する。



6丁目が見えて来た。



傍に6丁目の案内板を見る。



廿五番石仏を見る。



7丁目を通過する。



三十一番石仏を見る。



8丁目を通過する。



祠の石仏を見る。



擬木階段を緩く登って行く。



仁王門が見えた。



吽形



阿形



傍に9丁目の案内板を見る。



右上の作善上人の墓へ立ち寄り、引返し奥へ進む。



登ると平坦地で右に古い墓が集まっている。



一番奥に、玉垣で囲まれた墓所があり傍に「當山開山作善上人御廟所」と刻まれた石柱が立つ。



極楽の鐘の梵鐘が見えた。



傍に10丁目の案内板を見る。



鯉のぼり掲揚台 梵鐘の左方向の尾根筋の肩が開けており「日本一のこいのぼりが揚がります」の案内板が立ち、眼下に薄く浜坂の平野部が望まれる。



極楽の鐘傍から平坦路を北に進む。



左に三十番石仏を見る。



左に阿弥陀堂があり、赤い帽子と前掛けをした六地藏が並んでいる。



両側に「勅額 圓通殿 御寶前」と書かれた幟が並ぶ参道を奥へ向かう。



右に「万人講」と刻まれた石仏を見る。



圓通殿に到着。国指定の十一面観音菩薩立像が安置されており、毎年春に公開される。



圓通殿の扁額。



寺務所の右を抜け山道に取付く。



右下に圓通殿を見る。



緩く登ると山頂の平坦地が広がる。



マツの枝に掛けられた山名板。



観音山(245m)の山頂には三等三角点:観音山が設置され180°の展望が得られる。



南側に並ぶ石仏。



南西の展望。



北の海岸線。



西尾根降口 寺務所まで引き返し、左奥のキャリーレール発着所が降り口。



尾根筋の裏参道を降って行く。



平坦な尾根筋を行く。



右に六十三番石仏を見る。



シダ群生地を抜ける。



尾根筋の裏参道を緩やかに降って行く。



展望地からは、日本海が見える。



右に七十四番石仏を見る。



枝越しに浜坂町の町並みが見えて来た。



さらに降ると岸田川河口の先に浜崎の町並みが広がった。



左に「萬壺」の石碑を見て降る。



磯登山口の標柱を見る。



岸田川河口の磯伝いに東へ向かう。



左に小社を見る。



左に六十七番石仏を見る。



水路横の階段を登る。



広場から西尾根の山並みを見る。



道路を横断する。



浜坂白馬公園案内板を見る。



公園内の遊歩道を東へ向かう。



川沿いに進む。



左の金水を通過する。



最後の石仏を通過する。



相応峰寺の石垣に沿って駐車場へ帰り着いた。



サンインタチツボスミレ



ヤマアイ



サクラソウ



ヤブツバキ



コブキサルノコシカケ



アセビ



ヤマブキ



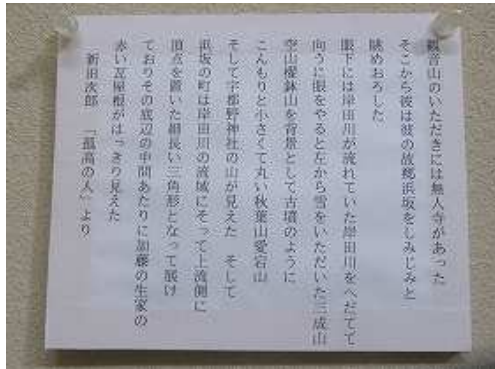
キラソウ



オオシマザクラ



加藤文太郎記念図書館に立ち寄り。



新田次郎「孤高の人」の一文。



加藤文太郎のレリーフ。



加藤文太郎記念図書館から観音山を望む。